

利用上の注意

- ①シルバーおでかけパスの提示が必要です。バスの降車時に運賃箱へ投入してください。
- ②1乗車につき1枚のみ利用できます。
- ③複写しての利用はできません。

利用上の注意

- ①シルバーおでかけパスの提示が必要です。バスの降車時に運賃箱へ投入してください。
- ②1乗車につき1枚のみ利用できます。
- ③複写しての利用はできません。

利用上の注意

- ①シルバーおでかけパスの提示が必要です。バスの降車時に運賃箱へ投入してください。
- ②1乗車につき1枚のみ利用できます。
- ③複写しての利用はできません。

利用上の注意

- ①シルバーおでかけパスの提示が必要です。バスの降車時に運賃箱へ投入してください。
- ②1乗車につき1枚のみ利用できます。
- ③複写しての利用はできません。



「進んでいますか？冬支度」No.236



11/1 開始 シルバーおでかけパス補助券で路線バスに乗ろう

多くの市民の皆さん、特に75歳以上の方に路線バスをご利用いただくため、11月16日販売開始の《ちとせスーパープレミアム付商品券》の利用に合わせ、《シルバーおでかけパス》をお持ちの方が利用できる100円相当分の《補助券》を本記事の左隣に印刷しました。



《補助券》を切り取り、買い物などの外出の際に、ぜひ、シルバーおでかけパスと合わせて活用し、路線バスをご利用ください。まだシルバーおでかけパスをお持ちでない方は、この機会に交付の手続きを検討してはいかがでしょうか。

《シルバーおでかけパス》とは？

シルバーおでかけパスは、バスの利用が少ない時間帯の利用促進と高齢者が外出するきっかけづくりのため、バス事業者の協力により実現しました。このパスがあれば、市街地の対象となるバス（便）を距離に関係なく、1乗車100円で利用することができます。

【対象となるバス（便）】

始発のバス停を10時から16時までに出発した便

【利用できるバス会社】

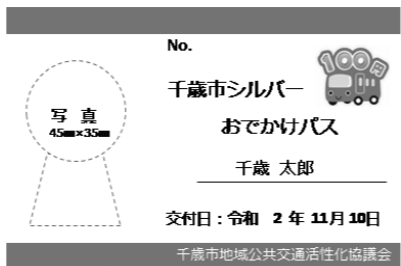
中央バス、千歳相互観光バス、道南バス、あつまバス
※中央バス「千歳線」（札幌方面～千歳駅前間）は利用不可。
※あつまバス「千歳線」は千歳駅～新千歳空港間で利用可。

【申請窓口】市役所本庁舎4階43番窓口

【お問い合わせ先】

千歳市企画部主幹（交通政策担当）

☎24-0897 FAX 22-8854



【対象者】市内に居住する75歳以上の方
※令和3年3月31日（水）までに75歳になる方も申請可。
【申請に必要なもの】①カラーの顔写真（4.5センチ×3.5センチ）、②印鑑、③本人確認書類（健康保険証など）
※申請時は本人が窓口にお越しください。



広報ちとせからのお知らせ

市民の皆さんの身近にある楽しい話題・イベントの情報をお寄せください。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX (22)8851

10/22 地域の活性化に向けて更なる連携を ヤマト運輸と連携協定を締結



物流などによる地域活性化と市民サービスの向上を目的として、市はヤマト運輸㈱と《包括連携協定》を締結しました。内容は《災害時の物資の輸送・保管など》《安全な地域づくり》《高齢者などへの支援》《青少年育成》《環境問題》《市の魅力の発信》など、さまざまな分野にわたります。締結式に出席した北川千歳主管支店長は「地域の安心・安全と更なる活性化をともにすすめていきたい」と今後の更なる連携に意欲を示しました。

10/10 アマビエでコロナ終息を願って 図書館まつり



アマビエの折り紙作りなどを通して新型コロナウイルス感染症の終息祈願をテーマとした《図書館まつり》が開催されました。参加者は「思ったよりも複雑」と悪戦苦闘。先生の話聞き、親子で協力して思い思いのアマビエが完成しました。きっと、もうすぐ願いは届きますね。

10/19 千歳産ワインの仕込みはじまる 千歳ワイナリー

千歳ワイナリー（高台）で、今年のコブドウの仕込み作業が行われました。この日に仕込んだ約170kgのコブドウは、市内の農家が育てたピノノワールなど3種類。コブドウの実と茎を分ける除梗が手作業で行われ、工場内は甘いにおりに包まれました。来年には市内唯一の《千歳産ワイン》として販売されます。



10/25 避難所開設・運営訓練② コミュニティ協議会で実施



祝 梅コミセンを会場に、祝梅コミュニティ協議会が独自に計画・実施した避難所開設・運営訓練では、市職員も参加し、資器材の貸出や説明などの支援を行いました。 ※訓練を計画する際には市危機管理課までお気軽にご相談ください。

10/3 千歳ラグビースクール 創立1周年記念大会



創立1周年を迎えた《千歳ラグビースクール》が記念大会を開催しました。設立当初は8人だったメンバーは75人に、小さなラグーマンはコートを元気に走り、パスをつないでいました。昨年の広報ちとせ10月号《人のいる風景》で紹介した佐藤雅敏さんの夢が着実に進んでいます。

10/15 世界の現状や異文化の理解を深めるため 千歳高校で国際理解の集い



生徒は、青年海外協力隊や留学生の海外での活動や体験談などに聞き入っていました。後半では事前に作成したポスターを使い各国の情勢などを英語でプレゼンテーション。質疑応答も英語のみで行う堂々とした発表で、世界を舞台にした活躍が期待されます。

10/21 避難所開設・運営訓練① 町内会連合会と市が連携



新型コロナウイルス感染症の状況下で自然災害が発生したと想定した訓練を実施。コミセン管理者やコミ協委員、市職員の三者が連携し、実践的な訓練を行いました。